

「池田分かち合いの会・ひかり」 No.2

発行責任者：植村ヨシ子 編集：京井幹男 発行日 2021年10月

田中幸子講演会「自死遺族として生きること」報告

場所：「豊中商工会議所」 参加費：無料 日時：2021年6月19日（土）

自死のない社会に変えていくには

- 1) 優しい人が優しいまま、笑顔で生きられる社会に変えていく。
- 2) 共存社会をめざす 自死で逝った人は、いがみ合いを望んでない。
- 3) 活動は「皆で支え合う」「自分と周りが原点」「互いに良い所を認め合いながらいく」
例えば、「思いやり、優しさ、気づき」
- 4) 多種多様なボランティア団体と認め合いながら、ゆるくいく。

池田分かち合いの会・ひかり in 豊中（定例会・毎月第二土曜日）

場所：「情報サロン」又は「とよなか男女共同参画センターすてっぷ」5階（阪急豊中駅すぐ）

池田分かち合いの会・ひかり in 池田（定例会・毎月第三土曜日）

講師の話と分かち合い

場所：「ステーションN」3階（阪急池田駅より徒歩2分）

いずれも午後2時から・事前申込み不要・参加費無料

問い合わせ先：植村ヨシ子（代表）電話080-3858-2954



みんなでお話そう

生きること

私は生きていていいのだろうか。居ない方がいいんじゃないか。

私が生きていると皆に迷惑をかけてしまう。

そんな思いで生きていた時がある。遺族の方の話を聞いてみると、亡くなられた方々もこのテーマを持っておられたように思う。遺族の中にも同じ思いの方もおられる。

意外と見つけにくいのですよ。生きていていい理由が。特別な才能があるわけでもなく、私は病人ですから、経済的独立は望めない。完全にお荷物と

思っていた。病気で経済的独立を成し遂げている方もおられますがその時の私には見えていなかったし、その力はなかった。

「私は生きていていいのか」という問いかけは、生きていい人

と悪い人を分けられるという前提がある。

分けてみよう。健康な人がいいなら病人はアウト。善人がいいなら悪人はアウト。社会の役に立つ人、立たない人。

健康で善人で社会の役に立つなら生きていい。何となく認めちやいそう。でもこれを認めると自動的に病人で悪人で社会に役に立たないなら生きる価値がないことになる。そして私はどう見ても後者の方なのだ。これには長い間苦しめられた。

雨にも負けて
風にも負けて
世間にも負けて
それでも生きていいんだよ
生きていてほしかった

あなたには
(K)

